

令和7年度

土倉林道改良工事

設計図

設計概要	林道名	土倉林道	橋梁名	土倉橋
	位置	岩手県遠野市附馬牛町上附馬牛地内		
	橋長	61.15 m	面積	527.9 m ²
	全幅員	4.7 m	有効幅員	4.0 m
	架設年次	昭和43年	設計荷重	TL-14
	河川名	猿ヶ石川(普通)	橋格	2等橋

図面枚数(表紙含む) 13枚

図面内訳

位置図縮尺図示 1枚

現橋一般図縮尺図示 1枚

補修一般図縮尺図示 1枚

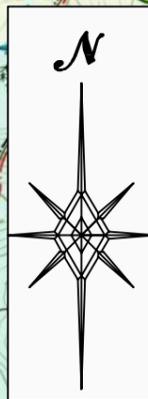
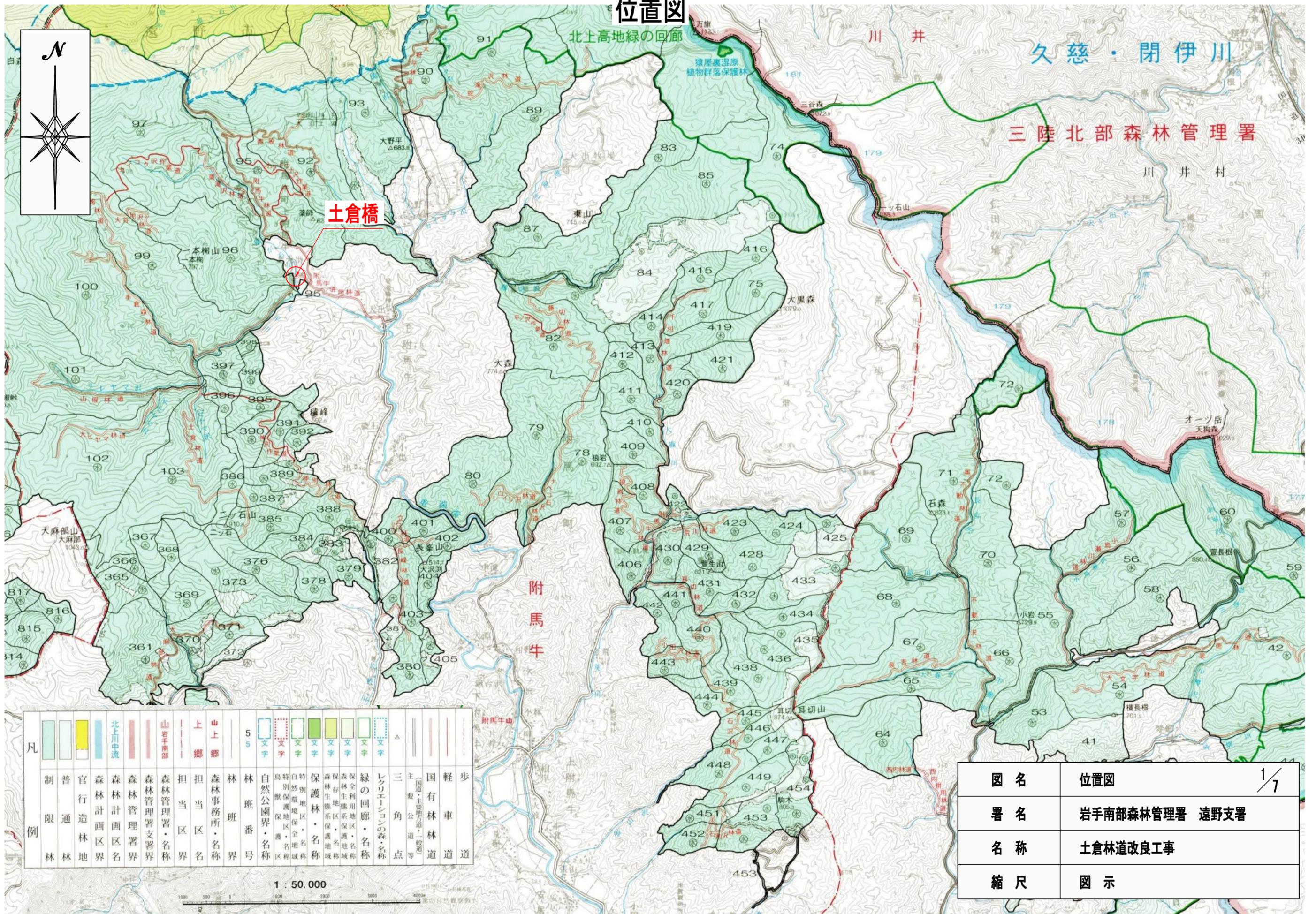
塗替塗装工詳細図縮尺図示 2枚

施工要領図縮尺図示 2枚

岩手南部森林管理署遠野支署

位 置 図

位置図



土倉橋

凡例	制林	普通林	官行造林地	森林計画区界	森林計画区名	森林管理署界	森林管理支署界	森林管理支署名称	担当区界	担当区名称	森林事務所・名称	林班界	林班番号	自然公園界・名称	鳥獣保護地区・名称	特別保護地区・名称	特別環境保全地域・名称	森林生態系保護地域・名称	保存地区・名称	保全利用地区・名称	緑の回廊・名称	レクリエーションの森・名称	三角点	主要公道等	国有林	軽便道	歩道
	[Symbol]	[Symbol]	[Symbol]	[Symbol]	[Symbol]	[Symbol]	[Symbol]	[Symbol]	[Symbol]	[Symbol]	[Symbol]	[Symbol]	[Symbol]														

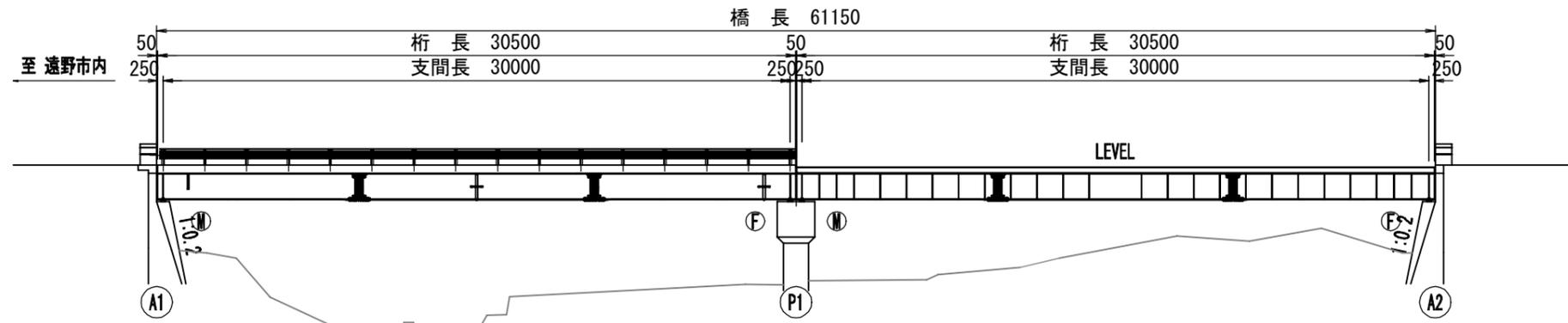
1 : 50,000

図名	位置図	1/7
署名	岩手南部森林管理署 遠野支署	
名称	土倉林道改良工事	
縮尺	図示	

現 橋 一 般 図

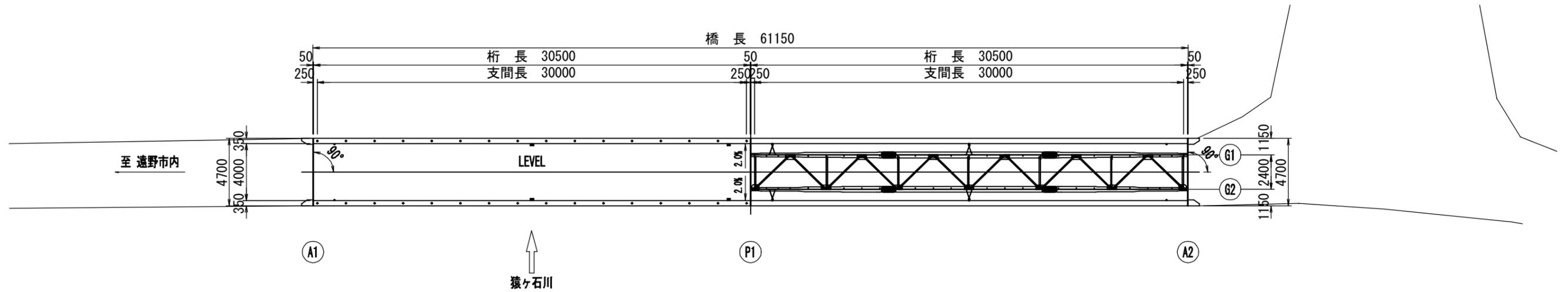
現橋一般図

側面図 S=1:300

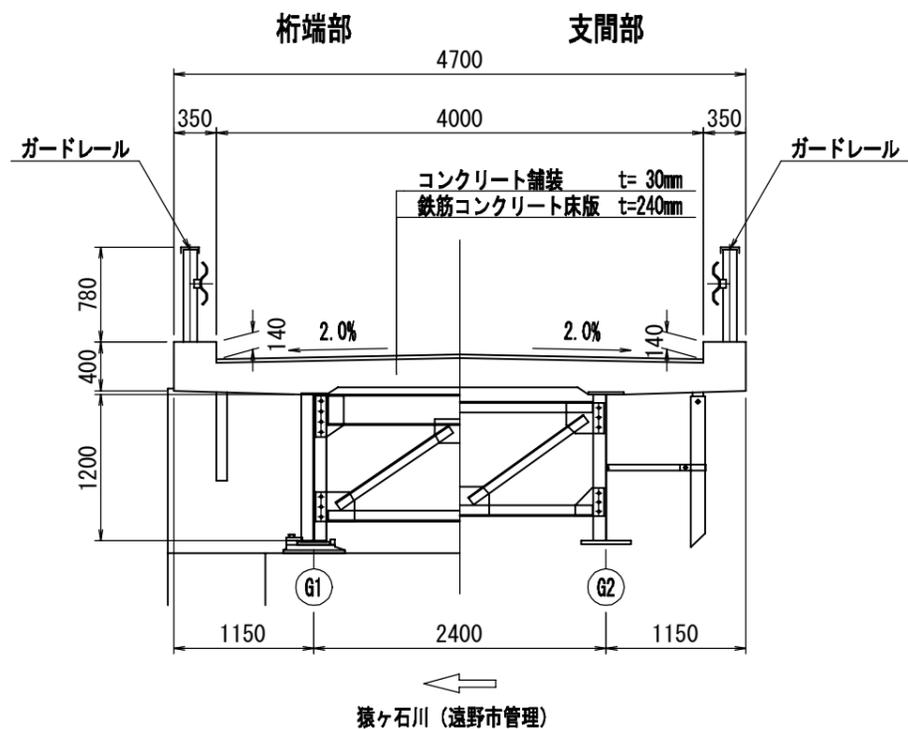


平面図 S=1:300

※土中部の形状は推定である。



上部工断面図 S=1:60



※舗装厚及び床版厚は推定である。

橋梁諸元

橋梁名	土倉橋 (ツチクラハシ)
場所	遠野市附馬牛町上附馬牛地内
路線	土倉林道
交差物	猿ヶ石川 (遠野市管理)
橋格	2等橋
荷重	TL-14
架設年次	昭和43年11月(1968年)
橋長	61.150m
桁長	30.500m×2連
支間長	30.000m×2連
斜角	90° 00' 00"
幅員構成	全幅4.700m (有効幅員4.000m)
舗装	コンクリート舗装 t=30mm ※推定
架物	なし
形式	単純合成桁、鉄筋コンクリート床版 t=240mm ※推定
支承	鋼製線支承 (固定可動)
躯体	重力式橋台、壁式橋脚
下部工	基礎
基礎	直接基礎 ※推定
適用示方書	昭和39年鋼道路橋設計示方書※推定
補修履歴	昭和60年 桁塗替塗装工
補強履歴	なし

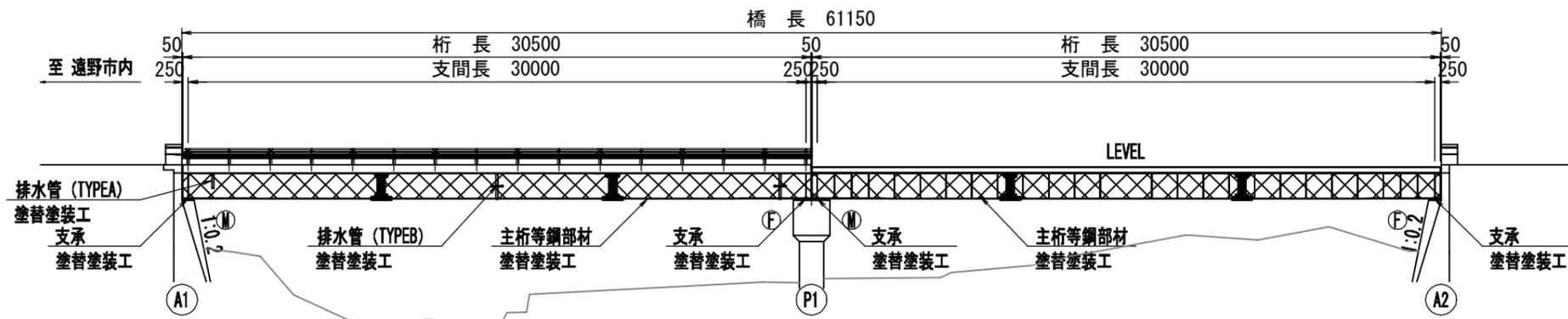
※本図面は、現地寸法計測により復元したものである。
 細部の詳細寸法については、現地再計測の上、決定すること。

図名	現橋一般図	2/7
署名	岩手南部森林管理署 遠野支署	
名称	土倉林道改良工事	
縮尺	図示	

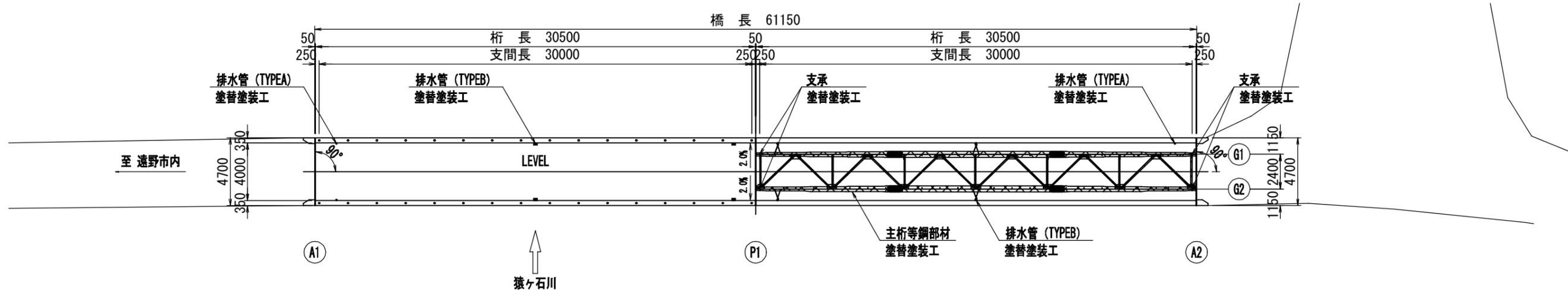
補 修 一 般 図

補修一般図 (塗替塗装工)

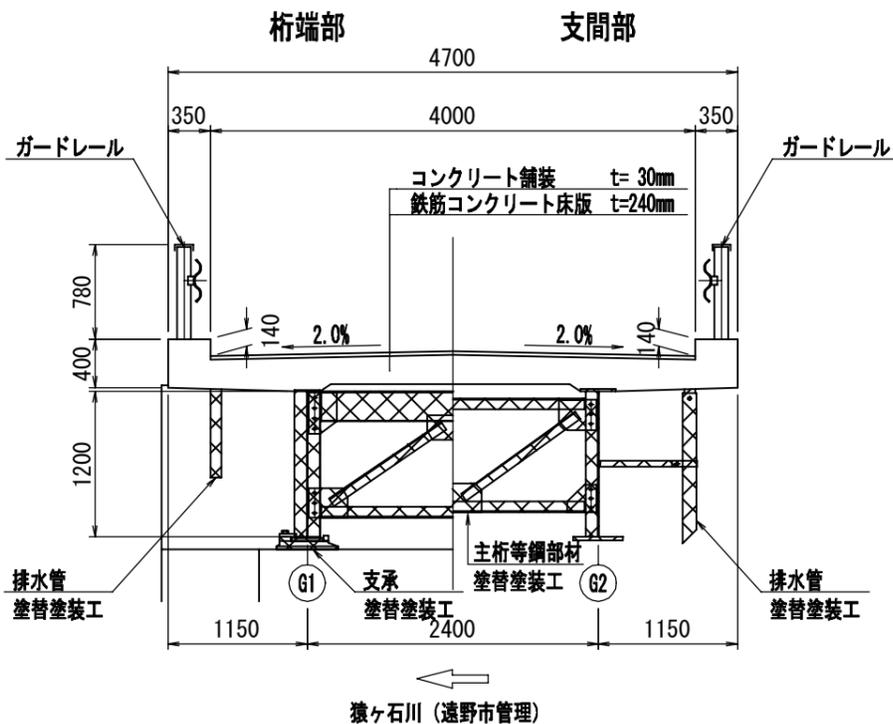
側面図 S=1:300



平面図 S=1:300



上部工断面図 S=1:60



橋梁諸元

橋梁名	土倉橋 (ツチクラハシ)
場所	遠野市附馬牛町上附馬牛地内
路線	土倉林道
交差物	猿ヶ石川 (遠野市管理)
橋格	2等橋
荷重	TL-14
架設年次	昭和43年11月 (1968年)
橋長	61.150m
桁長	30.500m×2連
支間長	30.000m×2連
斜角	90° 00' 00"
幅員構成	全幅4.700m (有効幅員4.000m)
舗装	コンクリート舗装 t=30mm ※推定
架物	なし
上部工形式	単純合成鉄桁、鉄筋コンクリート床版 t=240mm ※推定
支承	鋼製線支承 (固定可動)
下部工駆体	重力式橋台、壁式橋脚
基礎	直接基礎 ※推定
適用示方書	昭和39年鋼道路橋設計示方書※推定
補修履歴	昭和60年 桁塗替塗装工
補強履歴	なし

補修一覧表

部位	内容	位置・範囲	備考
上部工	主桁等鋼部材	全体	Rc-I (A=527.9m ²)
支承部	支承本体	全8基	
排水施設	排水管	全11箇所	

※本図面は、現地寸法計測により復元したものである。
 細部の詳細寸法については、現地再計測の上、決定すること。

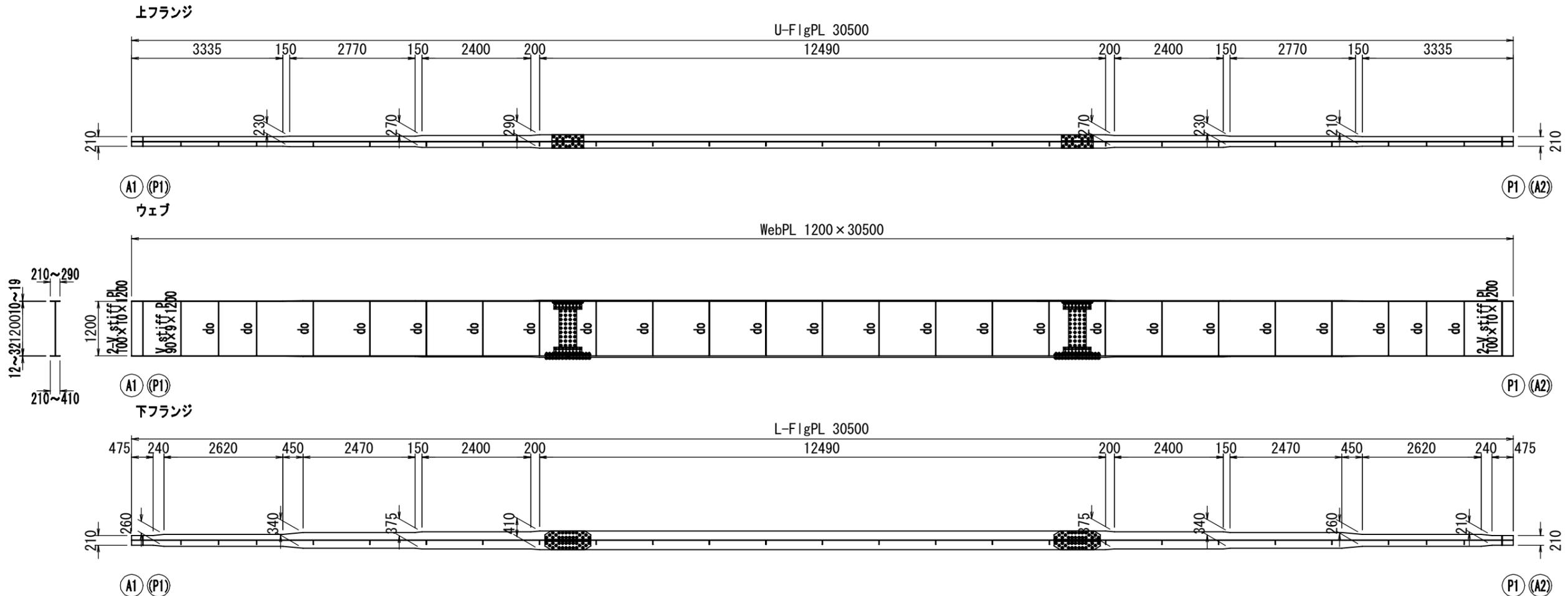
図名	補修一般図 (塗替塗装工)	3/7
署名	岩手南部森林管理署 遠野支署	
名称	土倉林道改良工事	
縮尺	図示	

※舗装厚及び床版厚は推定である。

塗替塗装工詳細図

塗替塗装工詳細図 (その1)

主桁詳細図 S=1:100



塗膜調査結果

①作業員の安全対策についての数値

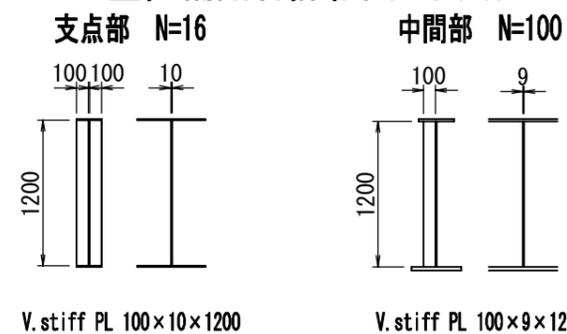
分析対象	単位	分析結果	基準	判定	基準が超過した場合
鉛	%	3.5	含有されていないこと	NG	鉛中毒予防規則適用
クロム	%	0.16	1.0	OK	特定化学物質障害予防規則適用
PCB	%	-	1.0	-	

②塗膜カスの処分に関する数値

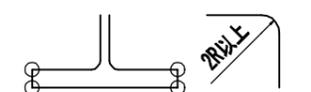
分析対象	単位	分析結果	基準	判定	基準が超過した場合
鉛	mg/l	0.36	0.3	NG	特定管理産業廃棄物 廃棄物判定基準
クロム	mg/l	0.15未満	1.5	OK	
PCB	mg/kg	-	0.003	-	

※有害物質が確認されたため、施工時は安全対策（作業員、環境）を実施すること。
※PCBが0.5~5,000mg/kg以下であることから、低濃度PCB含有廃棄物としての処理が必要になる。

垂直補剛材詳細図 S=1:60



エッジ部曲面加工



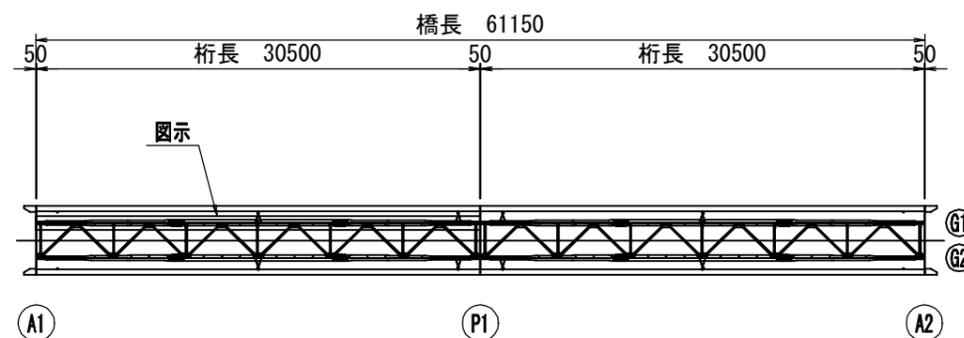
※ エッジ部は膜厚が確保されにくいことから、一般部と同等の塗膜性能を確保するため、2R以上の面取りを行い曲面仕上げとすること。
※ 対象部材は、主桁下フランジとする。

塗装仕様 (Rc- I 塗装系)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	1種ケレン: プラスト法 (ISO Sa2 1/2) (錆や旧塗膜を完全除去し、鋼材面を露出)	-	4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600 (スプレー)	1~10日
下塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	240 (スプレー)	1~10日
下塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	240 (スプレー)	1~10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	170 (スプレー)	1~10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140 (スプレー)	1~10日

公益社団法人 日本道路協会が発行するH26.3「鋼道路橋防食便覧」に準じる。
1: 原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。
2: 現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。
3: プラスト処理による除せい度はISO Sa2 1/2とする。

位置図 S=1:500



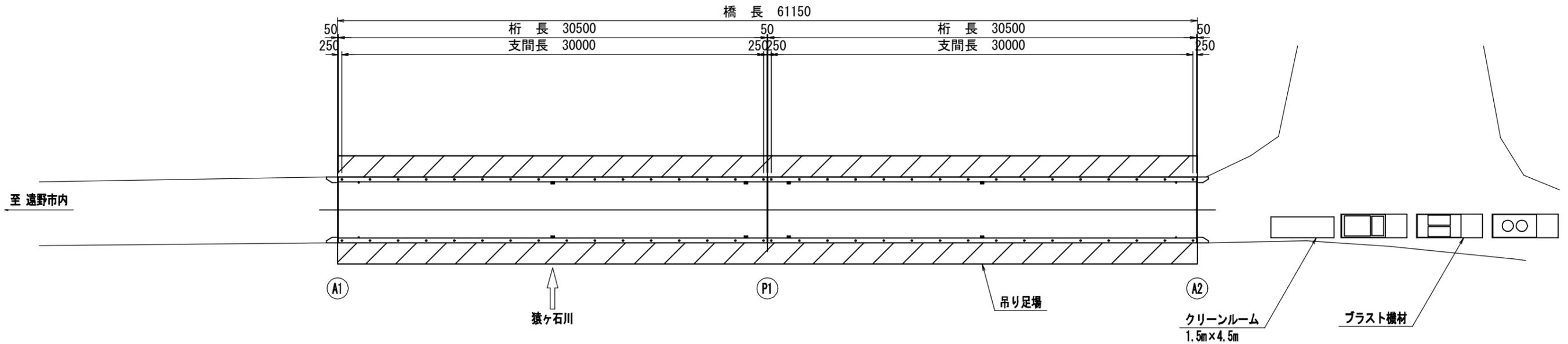
※本図面は、現地寸法計測により復元したものである。
細部の詳細寸法については、現地再計測の上、決定すること。

図名	塗替塗装工詳細図 (その1) 4/7
署名	岩手南部森林管理署 遠野支署
名称	土倉林道改良工事
縮尺	図示

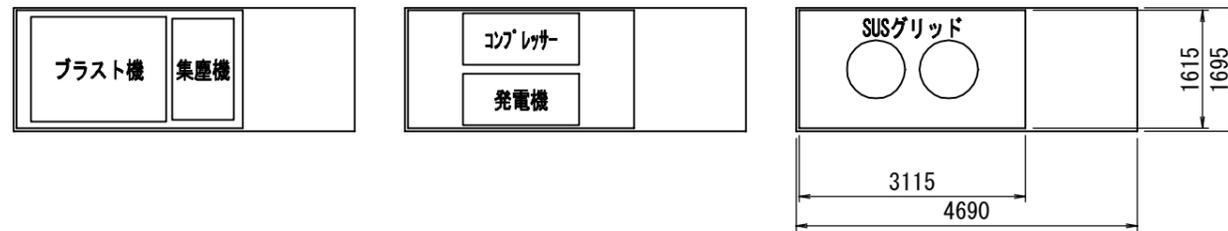
施 工 要 領 図

施工要領図 (その1)

平面図 S=1:300



塗替塗装工 ブラスト機材配置図 S=1:100
1ノズル (車載式: 2tトラック)



施工フロー

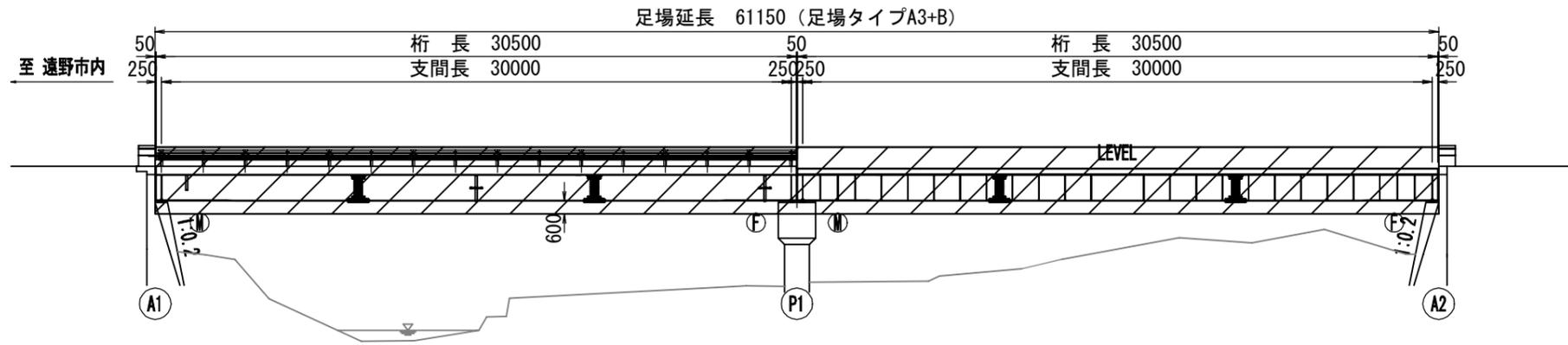


※本図面は、現地寸法計測により復元したものである。
細部の詳細寸法については、現地再計測の上、決定すること。

図名	施工要領図 (その1)	6/7
署名	岩手南部森林管理署 遠野支署	
名称	土倉林道改良工事	
縮尺	図示	

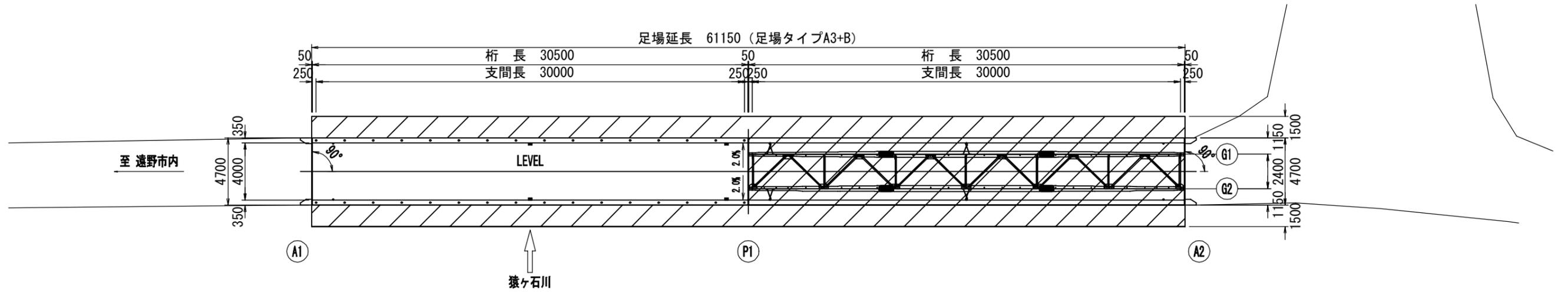
施工要領図 (その2)

側面図 S=1:300

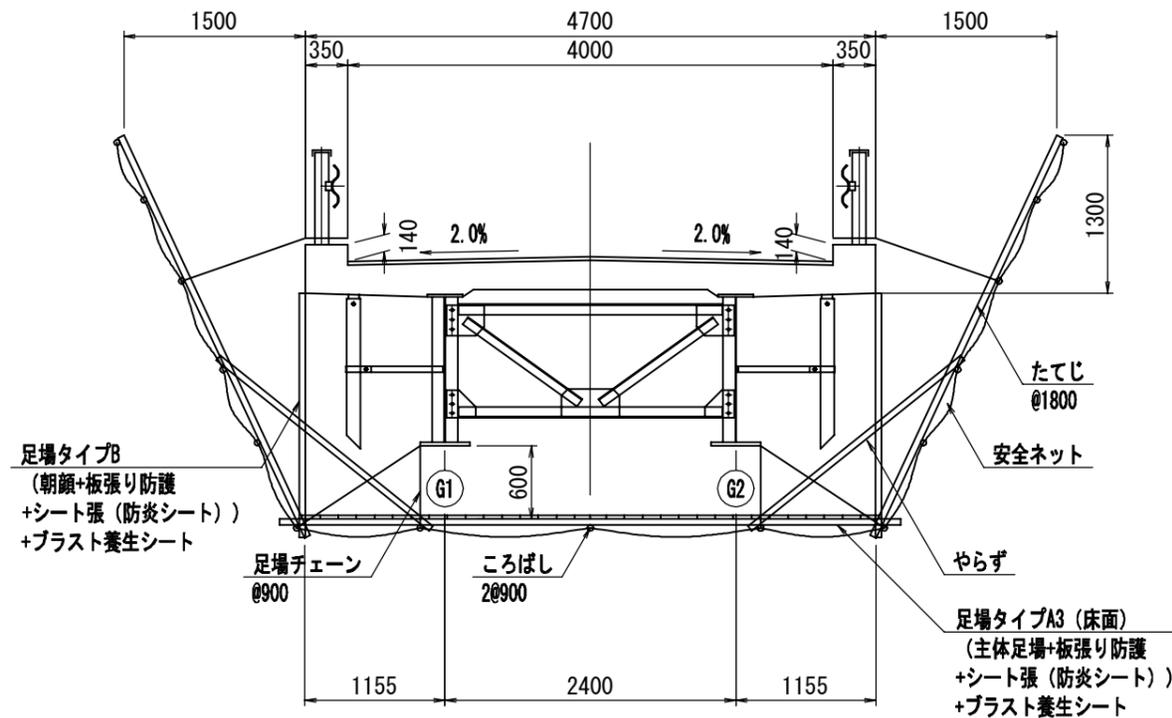


平面図 S=1:300

※ 土中部の形状は推定である。



上部工断面図 S=1:60



※床面の板張り防護は足場板と兼用。
 ※下フランジに設置する足場チェーン箇所は盛り替えて塗装すること。
 ※足場撤去時、塗膜の剥がれに対してタッチアップを行うこと。

※本図面は、現地寸法計測により復元したものである。
 細部の詳細寸法については、現地再計測の上、決定すること。

図名	施工要領図 (その2)	7/7
署名	岩手南部森林管理署 遠野支署	
名称	土倉林道改良工事	
縮尺	図示	